

I 学校教育目標

コミュニティスクール ～家庭・地域とともに歩む学校【共育（ともいく）】～

○考える子（知：確かな学力・学び続ける力）・・・今年度重点目標

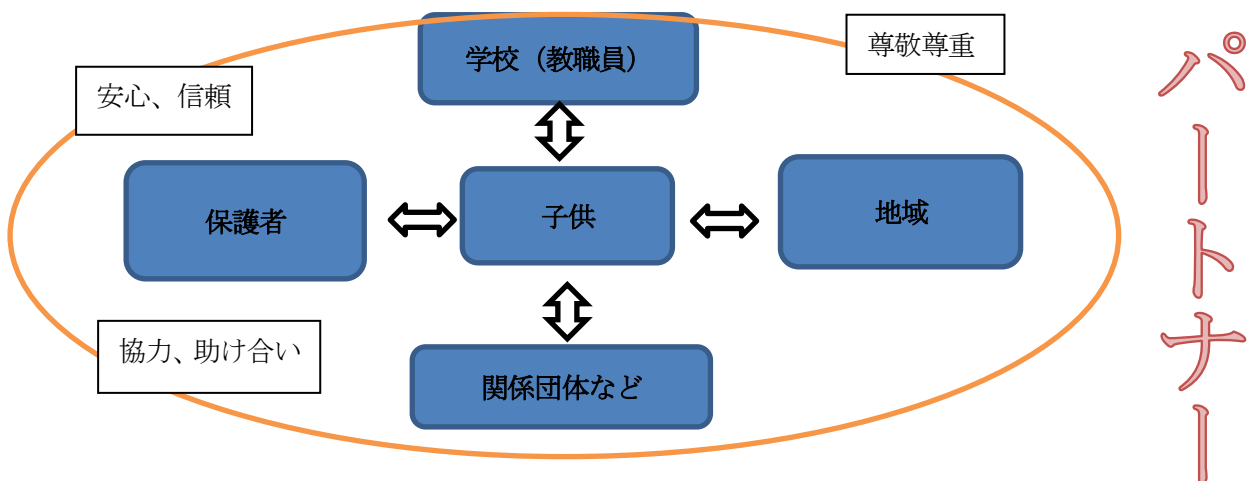
○思いやりのある子（徳：豊かな心・認め合う心）

○元気な子（体：健やかな体）

確かな学力・豊かな心・健やかな身体をもち、学び続け、認め合い、力をあわせてよりよい社会をつくり出そうとする児童の育成

II 目指す学校像

「学校に関わる全ての人を大切にする学校」



「大切にする（される）」とは・・・

児童にとって…学力が身に付く。高まりが実感できる（おもしろい！、できた！、わかった！）、

体力が伸びる、自分も友達も大切にされている、安心できる、居場所がある

教職員にとって…職務にやりがいや希望がもてる。安心して、協働・チャレンジできる。自身の

心身・家庭の安定

保護者・地域・関係者にとって…子供の成長や満足感、幸せ感が子供の姿で感じられる、教職員

の明るく誠実な雰囲気、保護者同士が温か、学校の様子や方針
がわかる等

Ⅲ 目指す教師像

(1) 常に児童理解に努め、全力で支援する教師

(2) 資質向上に向け、自己研鑽する教師

(3) 和を大切にしつつ、危機管理意識をもつ教師

(4) 保護者・地域から信頼される教師

Ⅳ 学校経営の具体的な取り組み

モットー：迅速（瞬時解決、再発防止の徹底） 組織的（全教育活動の組織対応）

公開（保護者・地域への説明責任） 改善（職務効率の向上）

1 社会に開かれた教育課程の実現に関して

(1) 「積極的な情報発信と情報の共有」

①積極的な情報発信

- ・tetoru 活用による電子版の手紙、必要十分な随時のお知らせの発行
- ・HP の活用・配信メールによる細やかな連絡
- ・クラスルームの活用、個人情報の取り扱い許可を保護者と交わす
- ・保護者などとの迅速丁寧かつ積極的な報告連絡相談

②積極的な公開の実施

- ・個人面談と保護者会の実施
- ・毎学期の授業公開の実施
- ・行事等の公開（運動会、小山中央フェスタ、学習発表会、入学式、卒業式など）
- ・授業、行事への学習支援ボランティア・地域の方をお招きした授業の実施

(2) 「地域との協働体制の確立」

①学校運営協議会との協働

- ・学校運営協議会の実施、
- ・研究授業、授業公開、各行事等の参観による、助言

②地域人材、外部団体を活用した授業や行事の積極的な実施

- ・地域学校協働活動の計画的な実施と記録
- ・地域・保護者ボランティアによる、登下校見守り、花壇整備

2 確かな学力の育成について

(1)「確かな学力の定着と学び続ける力の向上」【「わかる、できる、たのしい」授業を中心に】

- ①ノート指導の徹底
- ②思考力・判断力・表現力等の活用する力を育てる
- ③朝学習による基礎の定着
- ④ICT 機器を活用した授業
- ⑤地域の人材・教材を生かし「本物」に触れる。
- ⑥家庭と連携した学習
- ⑦外国語授業の充実、専科による授業、放課後英語教室等
- ⑧個に応じた指導の実施

(2)「特別支援教育の充実」

- ①授業のユニバーサルデザイン化
- ②個に応じた支援方法の共有・検討（校内研究を活用して）・
- ③サポートルーム教員、特別支援教室教員と通常学級教員の連携、家庭との連携
- ④校内研修会の充実
- ⑤交流学習実施

(3)「読書好きな子の育成」

- ①朝読書、読書週間など本好きにする取組、・家庭での読書の習慣化につなげる取組
- ②隙間時間読書の推奨・図書ボランティア、読み聞かせの実施
- ③図書室及び学級の蔵書の充実

3 豊かな心の涵養について

(1) 「規範意識の醸成」

- ①道徳授業の充実、
- ②いじめ防止基本方針の周知と実施
- ③SNS ルール、クロムブックルールの徹底

(2) 「協力し合える人間関係と豊かな情操の育成」

- ①自己肯定感の向上の取り組みの実施
- ②発表の場の設定（運動会、学習発表会等の行事、集会発表、クラブ発表 歌や合奏の発表 作品の発表等）
- ③異学年交流（教科学習での異学年交流、行事での交流、幼稚園・保育園・中学校等異校種交流）
- ④生き物や自然とのふれあい（雑木林での活動、栽培活動、飼育活動、動植物とのふれあい）
- ⑤ものづくり体験の実施（図工、家庭、生活等教科内。総合的な学習など）

4 健やかな体の育成

(1) 「体力の向上、スポーツ好きな児童の育成」

- ①体育の授業改善。運動の日常化の推進
- ②外部講師を活用した運動教室等の実施
- ③1校1取組の実施
- ④連合体育大会を目標とした6年生の取組

(2) 「安全意識・危機回避能力の向上」

- ①教室での一声指導の充実
- ②セーフティ教室、歩行訓練、ネットマナー教室など外部講師と保護者を招いた指導の充実
- ③細やかなメール配信による注意喚起
- ④放送などによる、全校への随時の指導